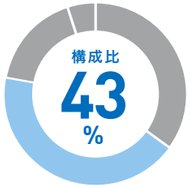
建材事業

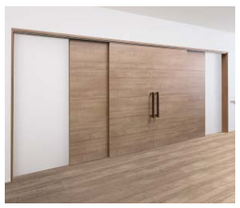
さまざまな建物の内装に最適な建材を開発・提供

住宅から公共・商業施設に至るまで、安全・安心・健康・快適という視点で
空間を形づくる高機能な建材を提供しています。

売上高構成比



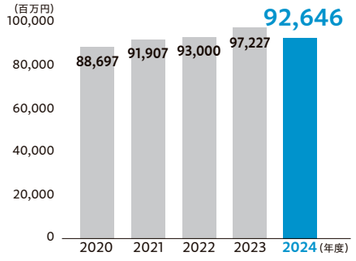
	床材	ドア	収納	音響製品
住宅向け	表面の質感・美しさと耐傷性・機能性を兼ね備えたこだわりのデザイン	豊富なデザインと使いやすさで室内のコーディネートを叶えるドア	収納力・機能性・デッドスペースの活用など、空間に適した収納ラインアップ	生活音の改善からホームシアターまで、音を楽しむ空間を提供
公共・商業施設向け	防音・衝撃緩和など施工場所に応じた性能を発揮する土足対応床材	施設特性に合わせた機能性を付与した室内ドア	利用者のリスクを低減し、安心して使用できる収納	オフィスなどにおける防音・残響音低減ニーズに応える豊富な製品



複合フローリング部門
1位
読者を対象に、建材・設備メーカーの製品採用意向等をアンケート調査
2024年11月28日号

住宅用室内ドア部門
1位
読者を対象に、建材・設備メーカーの製品採用意向等をアンケート調査
2024年11月28日号

売上高



生産工場

主要な事業内容

- 井波工場 …… 室内ドア・造作部材製造
- 三重工場 …… 木質フローリング・一般住宅向け床暖房製造

連結子会社

- 株式会社ダイフィット …… 集合住宅向け防音直床、土足用途直床製造
- 株式会社ダイウッド …… WPC床材・玄関造作材製造
- セトウチ化工株式会社 …… 木質フローリング・一般住宅向け床暖房製造
- 富山住機株式会社 …… 玄関収納・システム収納・造作部材製造
- 大建阿美昵体(上海)商貿有限公司(中国) …… 建材・住宅機器販売
- PT.DAIKEN DHARMA INDONESIA(インドネシア) …… 内装ドア製造

Voice of Employee

井波工場
製造部 製造3課
1班(ラッピング工程)
班長
鶴見 広和

井波工場ではドアや造作材などの内装建材を製造しており、私は窓枠や巾木といった建築用造作材生産のラッピング工程で班長を務めています。ラッピング工程とは、化粧シートに接着剤を塗布し、成型機を使って基材に貼り付ける工程です。この工程は、気温などの外的要因により品質が変動しやすいため、基材の温度管理や接着剤の塗布量の調整が非常に重要であり、ヒーター設備の制御などを通じて、常に安定した品質の製品を提供できるよう努めています。
現在井波工場ではTPM※活動にも力を入れており、私自身も小ロット生産に対応するための時間短縮や樹脂テープくずの飛散防止対策など、生産性向上・廃棄物削減につながる改善活動に取り組んでいます。これらの取り組みを通じて、工程内の環境改善にも貢献することができました。
近年では若手社員の入社も増えていることから、班長としてこうした活動を通じてコミュニケーションの場を広げ、誰もが意見を出しやすく、やりがいを感じながら働ける職場づくりにも力を入れています。「笑顔で出社し、笑顔で帰宅できる職場」をモットーに、これからも安全・安心で働きやすい環境の整備と、さらなる品質向上に努めていきたいと思います。

※TPM：Total Productive Maintenanceの略。製造工場および設備におけるロスをゼロにすることを目的とした、設備管理と生産性維持のためのマネジメントシステム

三重工場 製造部
河芸製造課 製造2係
更新性組 組長
森 吉顕

私は三重工場で「更新性フロア※」の製造に携わっており、組長としてラインにおける実加工(さねかこう)の加工工程と、その後に緩衝材を貼って梱包する仕組工程の2つの工程の生産管理を担当しています。それぞれの工程に特有の調整や段取りがあるため、品質維持・安定生産のためにはライン全体を正確に稼働させることが必要不可欠です。前職では約10年間プレス金型の設計に携わっていたのですが、その経験で得た知識や視点を活かしながら、現場での課題に柔軟に対応し、品質の向上と生産の効率化を目指して日々工夫を重ねてきました。
現在三重工場では、高意匠床材である『トリニティ オトユカ』の生産に注力しているのですが、本床材は繊細な加工が求められる製品であり、0.01mm単位での調整が必要になることもあります。製造過程において想定通りにならないことも多いですが、治具の工夫といった技術的な改善に加え、ラインのメンバーと試行錯誤を繰り返しながら課題を解決できた時の達成感は、なににも代えがたいものがあります。
今後は作業標準書などのマニュアルを充実させることで作業者の理解や納得感を高めるとともに、業務の属人化を防ぎ、安定した生産体制を継続できる現場づくりを目指していきたいです。

※更新性フロア：一枚ずつ交換可能なDAIKEN独自の床材

建材事業

事業の方向性

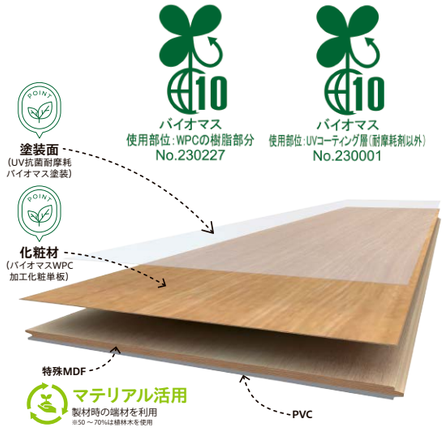
- 誰もが快適に“ここちよく”すごせる空間を実現する機能建材の開発強化
- 環境／快適価値提供の観点から業界をけん引する新たなスタンダードの創出

「事業を通じた価値創造」に向けた取り組み

事業を通じた価値創造
持続可能・循環型社会の実現

環境負荷低減と耐久性を両立する床材開発

当社では環境への配慮と製品の高性能化を両立させることを目指し、製品開発に取り組んでいます。2023年に発売された『デザインタフジオラ』は表面を天然木薄単板で仕上げることで高い意匠性を保ちつつ、WPC加工により土足にも対応できる耐久性を実現しています。また、2024年6月には、公共・商業施設向けのWPC床材『デザインタフジオラ』と『コミュニケーションタフ』において、WPC樹脂とUVコーティング層に植物由来の原料を配合することで、石油由来材料の使用量を削減した『バイオリーフ』シリーズを発売し、環境への配慮と高意匠・高耐久の調和を実現しました。本製品の一部はバイオマスマークを取得しており、環境負荷の低減への寄与が認められた床材です。また、木質素材を用いた住宅建材は、廃棄・焼却処分されるまでの間、炭素を貯蔵することができるため、これらの建材を使用することで公共空間・住空間を「第二の森林」として育てることにつながります。『デザインタフジオラ バイオリーフ』においては1㎥あたり約3kgの炭素を貯蔵（CO_2換算）することから、カーボンニュートラルの推進にも貢献しています。



製品構成図『デザインタフジオラ バイオリーフ』

事業を通じた価値創造
公共・商業建築分野の課題解決

心身の健康と充実した生活を実現する快適な空間提案

高齢者施設や病院で使用される内装建材は、入居者や患者の皆さまだけではなく、介助者など施設で働く方々にとっても安全で使いやすいことが重要です。そのため当社では、施設関係者の方々に日々の困りごとなどに関する定期的なヒアリングを実施し、新たな製品開発に反映しています。これらの意見を元に、2024年6月から公共・商業施設向けの片開きドアに、ICカードや顔認証と連携することで利便性とセキュリティを高める電気錠を設置できるようになりました。停電時にも開錠・施錠の自動切り替えを行うことができ、非常時における安全性も担保しています。一般的な住宅よりも安全性・快適性が求められる施設に対しても積極的に製品を展開し、誰もが安全・安心にくらすことのできる快適な空間づくりに貢献していきます。

『OMOIYARI』シリーズ製品の高齢者・医療施設への施工イメージ

『OMOIYARIドア 片開き（電気錠オプション追加）』を使用した空間イメージ
※通電金具より先の配線やシステム構成は現場対応

電気錠の配線イメージ

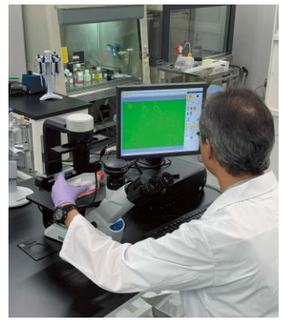
事業を通じた価値創造
国内外の住宅市場を支える

抗ウイルス製品の拡充

2009年の新型インフルエンザの流行をきっかけに抗ウイルス機能に着目し、2011年に開発に着手。翌年、業界に先駆けて抗ウイルス機能『ビオタスク※』を実用化しました。2020年以降も、コロナ禍におけるウイルス対策へのニーズにあわせ、高齢者施設・幼保施設・クリニックなど、高い衛生管理が求められる施設向けの製品を中心に、抗ウイルス機能を付与した製品群を拡充しました。今後もさらなる技術開発に向けた研究をおこない、ウイルスの脅威低減に貢献することを目指す取り組みを進めていきます。

※『ビオタスク』：抗ウイルス機能に対する当社独自の名称（当社商標登録）

抗ウイルス機能を付与した製品


R&Dセンター微生物測定室

Voice of Executive

執行役員
住機製品事業部長
神元 俊憲

住機製品事業部では、ドア・収納・造作材・階段などの生産・供給を行っています。2024年度は新設住宅着工数の減少に加え、平屋住宅が増加したことにより内装建材の需要が落ち込み、生産量が減少しました。加えて、労働人口減少や円安の影響に伴い、資材価格・物流費・人件費などあらゆるコストが上昇し厳しい事業環境となりましたが、新ラミネートラインの稼働をはじめとした合理化を進め、骨太の体質への変革、新製品投入による販売強化に努めてきました。

2025年度は建材の主力シリーズをリニューアルし『ハピア』から『イエリア』に刷新します。意匠やデザイン性の向上だけでなく、製品の軽量化や戸当たりなどの樹脂部品の小型化（従来品に比べプラスチック使用量を20%削減）を実現したことで、建設現場での作業負担軽減に貢献するとともに環境にも配慮した設計となっています。

今後は設備投資や工程改善によりさらなる体質強化を進めるとともに、グリーン電力およびオンサイトPPA※の導入を計画しており、温室効果ガスの削減をはじめとする環境対応とモノづくり力強化の両輪で、広く社会に貢献していきます。

※オンサイトPPA：発電事業者（PPA事業者）が需要家の敷地内に発電設備を設置して、電気を提供する仕組み

執行職
内装材事業部長
森川 大

内装材事業部では、建材事業の主軸である床材の生産・供給を行っています。近年は平屋住宅の人気が高まっていることから一戸当たりの床面積が減少傾向にあり、新設住宅着工数の落ち込みと合わせて向かい風の状況が続いています。このような事業環境の中、高い意匠性や環境への配慮にこだわった製品展開によりリフォーム市場、公共・商業建築分野を中心に拡販を行ったことで、改めて当社製品の付加価値を感じていただくことができました。特に、国産材活用の一環として地域産材にWPC加工を施した床材は、森林資源の活用・林業活性化・地域住民のエンゲージメント向上にも寄与し、本床材を採用いただいた庁舎や病院などは100件を超え、高い評価をうけています。公共・商業建築分野では内装木質化の要望が高まることが予想されており、オフィスや商業施設向けの製品開発にも注力していきたい考えです。

同時にさらなる環境負荷低減に向けた取り組みも必要不可欠です。かつて床基材は南洋材合板が主流でしたが、当社はMDFと植林木を組み合わせたエコ基材へとシフトチェンジさせ、床材のスタンダードを作り上げてきました。今後はサステナブル材料の導入や石化製品使用量削減などを加速させ、常に挑戦する姿勢を大切にしながら、新たなスタンダードを作り上げる製品や価値提供を目指していきます。